

お取寄せ



“玄品ふぐ”をいつでもお宅迄、贈り物にも

ホームページ <http://www.tettiri.com>

☎ 0120-43-0029〔月～金 10:00～18:00〕

株式会社 関門海

550-0014
大阪市西区北堀江2丁目3番3号
TEL 06-6578-0029 (代表)
FAX 06-6578-0030

〈表紙〉
酒市魚行是梵宮

物事が解って見れば(覚めた見地で見れば)、
酒、魚、店でも極楽浄土であり、なにも寺院仏閣が
極楽浄土ではないという禅の言葉である。
人生修行の場は何も寺や道場だけではない、
何れの場所も己次第で悟りの場であり得る。



第26期 事業報告書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

玄品グループ 株式会社 関門海

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜りまして厚く御礼申し上げます。

平成26年3月期は、原点回帰を柱とした中期経営計画の2年目として、「玄品ふぐ」への経営集中を更に進めました。

「玄品ふぐ」のお客様がご満足いただけるように、順次、古い店舗の改装を開始し、店舗空間の向上や設備改善のための設備投資を行いました。

また、店舗現場力をより一層強化すべく、従業員のサービスや商品へのこだわりに関する研修を強化し、更に、新商品の開発を行うことにより、常連のお客様に繰りかえしご来店していただけるよう尽力いたしました。

既存店舗以外の設備投資も積極的に行っており、平成25年11月に当社として3年ぶりの新店となる「新橋の関」を移転オープンしたのをはじめ、生産能力拡大及び安全面と品質向上を目的としたセントラルキッチンの改装も実施しました。

また、「玄品ふぐ」フランチャイズ加盟店の本格的な募集を再開することになりました。その一方で、収益性向上を目的として、子会社を含む不採算店8店舗の閉鎖を断行し、翌期以降の収益性向上への足固めを行うことができました。

更に、「組織・仕組み」を関門海グループの強みとすべく、人財教育に力を入れ、全社員を対象とした研修を充実させ、本物のおもてなしを提供できる「人財」を育成することに努めました。

平成27年3月期は、中期経営計画の最終年度として、

- 「玄品ふぐ」店舗の魅力度向上による更なる収益性向上
- 不採算事業の整理撤退の完遂
- 「人の関門海」をテーマとして、人財育成を更に徹底
- 「玄品ふぐ」のファンであるお客様に喜んでいただける施策を、実施してまいります。

何卒、今後とも当社への温かいご支援のほどよろしくお願い致します。

株式会社 関門海 代表取締役社長 田中 正

当第26期は減収なるも営業利益は増加

(平成26年3月期)

売上高 前期比	5,275百万円 △348百万円	● 「玄品ふぐ」既存店舗は売上増加 ● 大型店1店舗を含む8店舗閉鎖による売上減少 ● 関門橋工事による壇之浦PAの売上減少
------------	---------------------	--

営業利益 前期比	128百万円 +40百万円	● 店舗・本部の徹底したコスト管理 ● 不採算店舗閉鎖による利益増加
-------------	------------------	---------------------------------------

当期純利益 前期比	△40百万円 △56百万円	● 不採算店舗閉鎖に伴う特別損失122百万円計上
--------------	------------------	--------------------------

第27期の成長に向けた取組み

重点施策

- 関門海の方考え方・施策の情報発信を強化(ホームページのリニューアル)
- 店舗運営の更なる向上のため、全社員を対象とした人財育成の徹底
- 安全安心で美味しいものを提供すべく、品質向上・新商品開発の強化
- 綿貫宏介氏総監修による店舗の改装及び意匠空間演出の実施



業績

- 「玄品ふぐ」既存店舗の改装・施策、FC加盟活性化による売上高回復
- 不採算事業からの完全撤退及び店舗収益構造の確立による営業利益向上

「関門海」ホームページ
リニューアル



<http://www.kanmonkai.co.jp>

「玄品ふぐ」ホームページ
リニューアル



<http://www.tettiri.com>

連結財務諸表

連結貸借対照表(要約)			(単位:千円)
資産の部			
	当期 (H26.3.31現在)	前期 (H25.3.31現在)	
流動資産	2,601,514	2,810,190	
固定資産	1,701,093	1,855,096	
有形固定資産	1,001,706	1,075,729	
無形固定資産	5,937	6,793	
投資その他の資産	693,449	772,572	
資産合計	4,302,608	4,665,286	

負債の部			
流動負債	3,922,093	4,208,965	
固定負債	191,439	203,037	
負債合計	4,113,533	4,412,003	

純資産の部			
株主資本	183,790	224,445	
新株予約権	5,284	28,837	
純資産合計	189,075	253,283	
負債・純資産合計	4,302,608	4,665,286	

連結損益計算書(要約)			(単位:千円)
	当期 (H26.3.31現在)	前期 (H25.3.31現在)	
売上高	5,275,966	5,624,247	
売上原価	1,788,510	1,939,259	
売上総利益	3,487,455	3,684,987	
販売費及び一般管理費	3,359,297	3,597,102	
営業利益	128,157	87,884	
営業外収益	26,955	133,249	
営業外費用	95,610	163,406	
経常利益	59,502	57,727	
特別利益	24,508	34,141	
特別損失	123,081	78,726	
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△ 39,070	13,142	
法人税等	1,583	△ 2,396	
当期純利益又は当期純損失(△)	△ 40,654	15,539	

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)			(単位:千円)
	当期 (H26.3.31現在)	前期 (H25.3.31現在)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	164,168	32,278	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 66,631	261,077	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 230,454	△ 335,374	
現金及び現金同等物の増減額	△ 132,917	△ 42,019	
現金及び現金同等物の期首残高	1,249,845	1,291,864	
現金及び現金同等物の期末残高	1,116,927	1,249,845	

資産
減価償却費及び減損損失の計上等による有形固定資産の減少74百万円、未収入金の減少93百万円、未収消費税等の減少50百万円、差入保証金の店舗閉鎖等による減少72百万円等の減少要因により、前期と比較して362百万円減少し4,302百万円となりました。

負債
金融機関への借入金の返済227百万円等の減少要因により、前期と比較して298百万円減少し4,113百万円となりました。

純資産
当期純損失の計上による利益剰余金の減少40百万円、新株予約権の行使期間満了に伴う消滅による減少23百万円等の要因により、前期と比較して64百万円減少し189百万円となりました。

店舗数
当期における玄品ふぐ直営店舗数は、前期より1店舗減少し45店舗、フランチャイズ店舗数は、前期より7店舗増加し46店舗、「玄品ふぐ」以外のその他の店舗につきましては、前期より5店舗減少し14店舗となり、当期における店舗数は105店舗となりました。

売上高・純利益
売上高は5,275百万円、営業利益は128百万円、経常利益は59百万円となりましたが、「すし兵衛」の店舗等の閉鎖に係る店舗閉鎖損失78百万円、所有不動産の減損損失44百万円等を計上したこと等により、当期純損失40百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー
減価償却費132百万円、未収入金の減少93百万円、未収消費税等の減少50百万円等の増加要因により、164百万円の収入となりました。

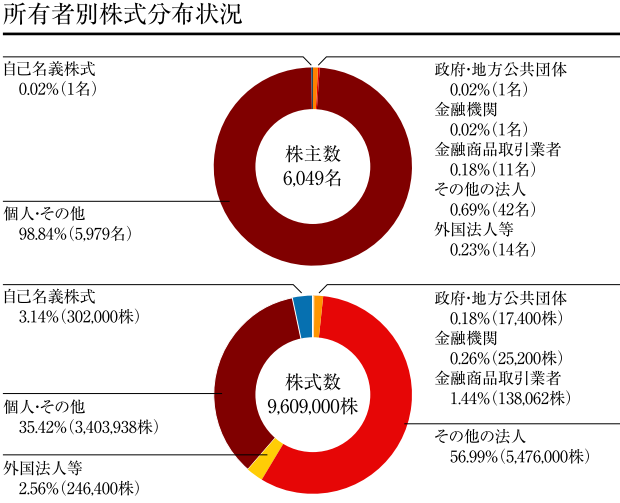
投資活動によるキャッシュ・フロー
有形固定資産の取得による支出129百万円等の減少要因により、66百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー
長期借入金の返済による支出173百万円、短期借入金の減少額54百万円等により、230百万円の支出となりました。

株式の状況	平成26年3月31日現在
発行可能株式総数	24,000,000株
発行済株式の総数	9,609,000株
株主数	6,049人
(注)平成25年10月1日付にて実施した株式分割(1株を100株に分割)に伴い、発行可能株式総数は23,760,000株増加しております。	

大株主(上位10名)		
株主名	所有株数	持株比率
株式会社椿台	3,046,600株	31.71%
株式会社ヤタガラスホールディングス	2,404,800株	25.03%
波戸 淳司	418,100株	4.35%
ビーエヌワイエム エスエーエヌブイ		
ビーエヌワイエム クライアント	204,800株	2.13%
アカウント エムピーシーエス ジャパン		
三広 実	88,800株	0.92%
野村證券株式会社	56,200株	0.58%
山口 旺子	51,950株	0.54%
山口 晴緒	51,950株	0.54%
西尾 貴子	50,000株	0.52%
浅野 省三	42,200株	0.44%
合計	6,415,400株	66.76%
発行済株式総数	9,609,000株	100.00%

(注)当社は自己株式302,000株(持株比率3.14%)を保有しておりますが、上記大株主様の状況には含めておりません。



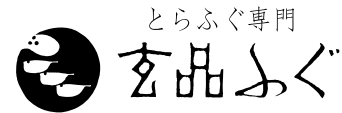
会社概要

株式会社 関門海 KANMONKAI Co.,Ltd.	
創 業	昭和55年9月
設 立	平成元年5月 株式会社さかな亭(現:株式会社関門海)を設立
資 本 金	5億9,689万円(平成26年3月31日現在)
従 業 員 数	正社員144名(平成26年3月31日現在)
所 在 地	[本社] 〒550-0014 大阪市西区北堀江2丁目3番3号 TEL: 06-6578-0029(代表) FAX: 06-6578-0030 [東京本部] 〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町1丁目9番2号 稲村ビル9F TEL: 03-5649-0029 FAX: 03-5649-0030
上場取引所	東京証券取引所 マザーズ市場(3372)
U R L	http://www.kanmonkai.co.jp
役 員	代表取締役社長 田中 正 取締役 大村 美智也 取締役 本多 正嗣 常勤監査役 阿井 公宗 社外監査役 近藤 行弘 社外監査役 小田 利昭

株主メモ

事 業 年 度	毎年4月1日から翌年3月31日
定 時 株 主 総 会	毎年6月下旬
基 準 日	毎年3月31日
中 間 配 当 基 準 日	毎年9月30日
株 式 の 売 買 単 位	100株
株 主 名 簿 管 理 人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同 連 絡 先	大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL: 0120-094-777
公 告 の 方 法	電子公告による (http://www.kanmonkai.co.jp) 但し、電子公告を行えない場合は、 日本経済新聞に掲載する。

「玄品グループ」店舗一覧



北海道 ススキノ関	中野の関 西葛西の関 練馬の関 八王子の関 平井の関 門前仲町の関 両国の関 六本木の関	平塚の関 本厚木の関 南林間の関 元住吉の関 横浜の関	新大阪の関 吹田の関 船場の関 左右海 宗右衛門町の関 曽根崎の関 大国町の関 高槻の関 千鳥橋の関 鶴橋の関 天満の関 長田の関 西中島の関 寝屋川の関 花園の関 福島関 布施の関 法善寺の関 守口の関 八尾の関
東京都 赤羽の関 浅草の関 池袋の関 上野の関 大井町の関 大森の関 神楽坂の関 蒲田の関 亀有の関 亀戸の関 神田の関 吉祥寺の関 銀座一丁目の関 高円寺の関 国分寺の関 五反田の関 志村坂上の関 自由ヶ丘の関 新宿歌舞伎町の関 新宿三丁目の関 新橋の関 竹ノ塚の関 千歳烏山の関	千葉県 千葉関 浦安の関 柏の関 船橋の関 本八幡の関	愛知県 錦中央の関 錦関 京都府 祇園の関 大阪府 我孫子の関 池田の関 茨木の関 梅田東通の関 江坂の関 大阪黒門の関 鳳の関 大和田の関 北梅田の関 楠葉の関 香里園の関 堺天神の関 庄内の関	兵庫県 兵庫関 尼崎の関 伊丹の関 北野坂の関 塚口の関



埼玉県 南越谷店	東京都 新宿南店	大阪府 東心斎橋店
東京都 浜松町店	すし兵衛 平塚店	その他 アリアッチ（神奈川:川崎） バルデゲー（東京:豊洲） ちゃぶマイル（大阪:北堀江） 壇之浦パーキングエリア（山口:下関） まねき（三重:四日市）



元気みなぎるエネルギーコース
げんき
玄貴 四、九八〇円
美楽瑠 四、九八〇円
ミラクル

七月一日より

※価格はすべて税込表示です。 ※フリードリンク（プラス一、九四四円）は四名様より承ります。

焼きふぐを楽しむ 限定(6～8月) コース



げあんご
安居
全六品 四、二九八円
フリードリンク付 六、〇〇〇円
湯引き
てっさまたはぶつ刺し
白彩サラダ
焼きふぐ
ふぐわさび茶漬け
またはふぐ寿司（三貫）
デザート
全七品 五、七二四円
上記に加えて・唐揚げ
フリードリンク付 七、五〇〇円
全八品 七、七七六円
上記に加えて
唐揚げ・焼き白子
フリードリンク付 九、五〇〇円

